

卒業式には在校生代表として、執行部が参列しました

# 生徒会だより(卒業特別号)

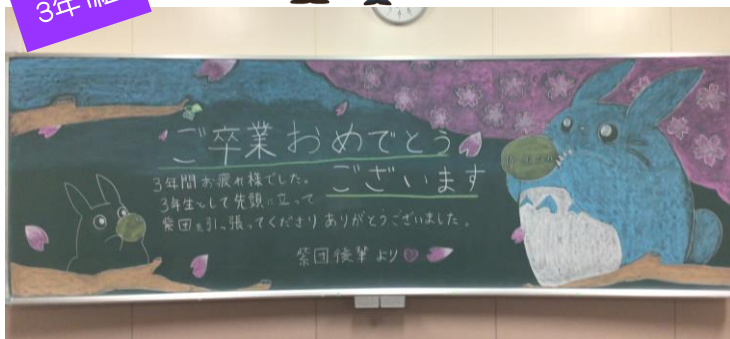


令和3年度(R4.3.15 発行)  
大阪市立淀商業高等学校  
生徒会執行部



各団の1・2年生から、黑板アートとメッセージを3年生へ届けました!

3年1組



「3年間お疲れ様でした。3年生として先頭に立って、紫団を引っ張ってくださり、ありがとうございました!」

## 卒業生からのメッセージ

卒業式では、答辞を読まれた先輩が最後、式辞用紙を静かに閉じられた後、私たちの送辞に応え、「最後にお願ひがあります。この場にいない後輩にどうかお伝えください。元気ですか、がんばっていますか、と私たちが言っていたことを・・・」と、用意されていた答辞にはない言葉を、1・2年生に向け優しく語りかけてくださいました。

その言葉に応えられるよう、私たちは新学期を頑張っていきたいと思います!

送辞、答辞も載せているので、一度読んでみてください。

3年2組



「優しく教えてください、ありがとうございました!」

3年4組



「卒業おめでとうございます。卒業しても、次の目標に向かって頑張ってください。そしていつか、淀商に来てください!」

3年3組



「先輩方のおかげで、体育祭楽しかったです! 進学・就職されても頑張ってください!」

3年F組



「遥か遠くまで花道を歩いて、一生分の笑顔が咲き誇りますように! 桃団のダンスを教えてください、ありがとうございました! 練習した日々はとても良い思い出になりました!」

## 送 辞

～ BGM オルゴール「虹」／菅田将暉 を添えて ～

本日、皆様が晴れて卒業の日を迎えられましたことを、心よりお喜び申しあげます。

私たちがそろって、先輩方のお声に接することが出来たのは、体育祭の応援団練習からだったと思います。結団式の後、先輩方は私たちを集めて、「体育祭の応援団演技で優勝したいんです。みんなの力を貸して」そう言って自己紹介をされ、私たちの名前を一人ひとり呼ばれました。

振り付け、フォーメーション移動、曲に合わせた緩急の付け方。先輩方はCDデッキの前にしゃがんで、何度もスタートボタンを押しては曲を流し、私たちの踊りを見てくれました。私たちの動きが合って、自然な流れとなるまで、それは、何度も何度も繰り返されました。ご自身のパートはそっこのけで、ひたすら私たちの練習を気にかけて、そして本番では完璧に踊ってみせる。一年か二年しか学年は変わらないのに、どうして先輩はこんなことができるの？上級生になれば、そんな力が自分たちにも備わってくるのだろうか。そう思いました。先輩方から何かを教わる時は、先生方や家族から教わる時間とはまた違った心地よさを、私たちは感じていました。私たちが出来ないことを絶対にあきらめない。何度でも、できるまで繰り返してくださいました。その優しさは、もしかしたら先輩方も、私たちと同じところをつまづいて、それを乗り越えられた経験があたりだったから…なのかも知れません。

やがて体育祭も終わり、私たちは団を離れて、それぞれの学校生活に戻りましたが、廊下ですれ違ったり、体育館の出入りや食堂でお見かけしたりすると、先輩方は必ず「元気？がんばってる？」と声をかけてくださいました。

そんな先輩方のご卒業を、今日私たち一・二年生はこぞってこの場に集まり、お見送りすべきでしたが、許されませんでした。

昨日みんな先輩方の教室に行って、黒板いっぱい絵とメッセージを書いてきました。それは、赤団の、黄団の、緑団の、紫団の、桃団の後輩たちから先輩方へ向けた、お別れのご挨拶です。先輩方は今日この淀商業を去って行かれ、黒板の絵も文字も、明日には消されているでしょう。そして私たちは、最上級生がいなくなった寂しいこの校舎で、先生方と一緒に新しい一年生がやってくるのを待ちます。

出来ればもう一度、先輩方から「元気？がんばってる？」と声をかけていただきたかったです。どうかお元気です。ありがとうございました。

令和四年三月一日

在校生代表 生徒会長

## 答 辞

く BGM オルゴール「友」／ゆず を添えて く



厳しかった冬の寒さも和らぎ、春の気配を感じられる季節となりました。本日はコロナ禍の厳しい情勢の中、私たち七十七期生の卒業にあたり、このような素晴らしい式を挙行していただき、ありがとうございます。また、ご多忙の中、ご臨席くださいました教職員、保護者の皆様に、卒業生一同、心から御礼申しあげます。

今から三年前、私たちは少し袖の余った制服に身を包み、新しく始まる専門的な授業や環境の変化に不安と期待を抱えながら入学式を迎えました。

初めての行事である校外学習では、いちご狩りに行きました。最初はぎこちなかった会話も段々とスムーズになり、帰りの電車では肩を寄せ合い眠る姿も見られました。体育祭、文化祭、何もかもが新鮮で時間が経つのがあつという間でした。福祉の授業では、施設実習に行き、実際に利用者の方と交流することで貴重な経験を得ることができました。そして二年生。新型コロナウイルスが猛威を振るい、一学期は分散登校や短縮授業がほとんどで、通常授業に戻っても心安まることはなく、商業科で学ぶ醍醐味ともいえる淀翔モールも校内での販売実習に変更となりましたが、それでも普段見ることができない生徒たちの法被姿がとても印象的でした。何より修学旅行がなくなったことは、私たちにとって大きな衝撃でした。しかし、先生方は中止が決まったときから代替案を考えてくださり、三年生の十二月には校外学習という形でユニバーサルスタジオリゾートに行きました。時間を忘れて遊びつくし、心の底から笑い合ったあの時間は大切な思い出です。

三年生では進路に向けて各自ですべきことが増え、友人と語り合う時間にも、心のどこかで緊張が解けませんでした。そして、年が明けても止まることのない感染拡大。福祉科では国家試験を控えての追い込みの時期なのに、緊急下校や休校が相次いで、不安で胸がふさがるようにな思いがしていました。そんな中をお互いで鼓舞し合い、なんとか踏ん張ってきました。先生方が日々励ましの言葉をくださり、根気強く教えてくださったことが、とても心強かったです。また、毎週末に行われる検定試験に向けて、商業科が見せる懸命な姿にも、何度も背中を押さられました。

部活動では、三年生になると部長として活躍する友人も増え、後輩を引っ張っていく姿がカッコ良かったです。私の場合、生徒会活動です。活動を通して培った経験と、支え合ってきた仲間との時間はかけがえのない宝物です。生徒会が主催した体育祭は、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染防止の観点から、制限付きの開催で行われました。コロナ禍であっても楽しく思い出に残る体育祭を目標に、何度も試行錯誤を重ねました。短い準備期間で団長を中心に後輩

をまとめることは、簡単ではなかったと思います。今年度は四クラス団もあり、特にプレッシャーや焦りも大きかったのではないのでしょうか。しかし、当日の素晴らしい演技や眩しい笑顔を見てみると、準備をしてきたことは無駄ではなかったんだと心から思いました。

この三年間は、コロナ禍に分断されて思い描いていた高校生活とは全く異なるものでしたが、コロナ禍だからこそ得たものもたくさんあります。だからこそ、この三年間をマイナスに捉えず、この時期を乗り越えてきた自分たちを誇りに思いたいです。

保護者の皆様、三年間ありがとうございました。自分でも説明がつかない理不尽さに襲われ、あなた方につらくあたってしまったことも少なくありません。私たちを思ってくれた言葉を、素直に受け入れることができないこともありました。それでも変わらない愛情を注いで支えてくださったことを、今しみじみと感じています。普段、口にして言うことはありませんでしたが、感謝しています。まだこの先もたくさん迷惑をかけると思いますが、もう少しだけお世話になります。

最後になりましたが、本日の卒業式にご臨席を賜りました皆様のご健勝と、愛する母校のますますのご発展を願い、答辞の言葉とさせていただきます。

令和四年三月一日

卒業生代表



淀商の早咲き桜を思い出に

3年生の皆さんは淀商から旅立たれました